



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2025/7/19 Rd-6 FUJI SPEEDWAY

天候：晴れ 気温：31℃ 出走台数：22 台

富士スピードウェイの夏の風物詩となった『スーパーフォーミュラ夏祭り 2025』第4大会富士スピードウェイ。2レース制で開催される本大会の1戦目となるRd6決勝は、気温30度、路面温度は50度を超える梅雨明けした夏空の元でスタートを迎えた。

3列目スタートの牧野選手は抜群のスタートで大きく順位を上げ1コーナーへ、しかしアウトサイドの位置取りが悪く、1ポジションダウンの7番手となる。

太田選手はスタートで1台を抜き10番手でオープニングラップを周回した。

10周を終えピットウィンドウがオープンすると、チームは牧野選手をピットに呼びタイヤ交換を済ませる。

一方、ペースの良い太田選手はステイアウトを選択。

牧野選手は、1分25秒前半のペースでピットイングループの3番手を走行しながら、ステイアウト組とのタイム差を削ってゆく。

チームは、1分25秒代後半にペースダウンし始めた23周目に太田選手をピットに呼ぶ。トラブルなくタイヤ交換を済ませると、太田選手は小林選手との接近戦を制し、その時点のファステストラップを記録しながら10番手を走行。

更に前を走るフラガ選手とのタイム差をじりじりと詰め32周目の1コーナーで並びかけるがオーバーテイクには至らない。

終盤、5番手を走る牧野選手、10番手の太田選手共に順位の変動がなく、牧野選手5位。太田選手10位でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 5位

予選から引き続きリアのグリップ不足が解消できずとても厳しいレースになってしまいました。10周終了後のミニマムでタイヤ交換をしたメリットも思うように生かせず、期待した展開には持ち込めませんでした。公式テストの好感触が全く再現できず、前戦オートポリスでの課題が再発した感じです。

テストデータを再度検証し、明日の第7戦に向けてチームとともにしっかりと準備して臨みます。

6：太田格之進 選手 10位

予選のミスで後方スタートとなりましたが、決勝ペースに自信がありましたし、スタートでも順位を上げることが出来ました。ただ、レース展開上ピットインのタイミングや、ライバルのペースに付き合う周回が多かったこともあり、思うようにポジションアップはできませんでした。レーススペースの良い部分はありましたから、状況が整えば十分上位を狙えます。今日のフィーリングをポジティブにとらえて、明日のレースを戦います。